

広報 なかわだ

第417号

12月の予定

黙想会 / ゆるしの秘跡	7日(日)
教会委員会	14日(日)
信徒の会	21日(日)
主の降誕	24-25日(水、木)



2014年12月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北1丁目9-1
Tel/Fax (045) 803-6141

www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/

2014年12月7日

Adoration of the Shepherds (Guido Reni, 1575-1642)

メリー クリスマス

フランシスコ・ザベリオ 日野 武満 神父



我が主イエス・キリストの御降誕と新年のお祝いを申し上げます。

A年の典礼暦が終わり、B年の待降節を迎えます。イエス・キリストの御降誕を迎えるまでの4週間、教会は心の準備を深めるように諭します。

去る11月に、元横浜教区長の故濱尾文郎枢機卿様の七回忌の追悼ミサが司教座聖堂で行われましたが(「カトリック新聞」掲載)、枢機卿様が教皇庁移住・移動者司牧評議会議長としてバチカン内の聖マルタの家(現在、フランシスコ教皇様もお住まい)で聖務についておられた時、巡礼で何回か訪問しました。

イエス・キリストが神の子としてベトレヘムでお生まれになったことを世界中の人々がお祝いしますが、聖書には、御降誕の喜びがまだ続いているさ中に、ユダヤの王による受難の始まりが記されています。王によって、ユダヤのベトレヘム近辺に生まれた男子幼児を殺害せよとの命令が出され、ヨゼフとマリアは、幼子イエスを抱き、エジプトへの避難の旅につきます。イエスは移住者として人生の出発を迎えたわけです。ちなみに、故ステファノ濱尾文郎枢機卿様の紋章はエジプトへ避難する聖家族です。現在の横浜教区長、ラファエル梅村昌弘司教様は、新築された末吉町教会の司祭館別館に、移住者、難民や祖国を離れて一年のほとんどを海上で生活することの多い船員のためのホールを建設されました。



故濱尾文郎枢機卿様の紋章

21世紀を迎えた今も、戦争、紛争、争乱、自然災害などによって、祖国や故郷を離れて避難生活をしなければならない人々や、貧困や病気に苦しむ人々は絶えません。

クリスマスを迎える私たちは、愛の実践によって喜びを分かち合いましょう。



日	曜	典 礼	ミ サ	備 考
7	日	待降節第2主日	主日ミサ(9:00)	(熊木神父様) 黙想会 / ゆるしの秘跡
8	月	無原罪の聖マリア(祭日)	祭日ミサ(9:30)	(熊木神父様)
12	金		週日ミサ(9:30)	
14	日	待降節第3主日	主日ミサ(9:00)	
19	金		週日ミサ(9:30)	
21	日	待降節第4主日	主日ミサ(9:00)	
24	水	主の降誕(祭日、夜半ミサ)	祭日ミサ(19:00)	
25	木	主の降誕(祭日、昼間ミサ)	祭日ミサ(10:00)	
26	金		週日ミサ(9:30)	
28	日	聖家族(祝日)	主日ミサ(9:00)	

～ 中和田の風 ～

「聴く」こと

－ 神の慈しみと憐れみに伴われて －

黙想会、「心を聴く市民ネット」などに関わっておられる岩崎好愛さんに「聴く」ということについてお話を伺いました。

▲受洗されたきっかけをお話ください。

一戦後日本中で外国人宣教師による布教活動が盛んになり、その頃住んでいた新潟県の青海町（現糸魚川市）にも民家を開放した小さな教会ができました。中学生だった私は友達と誘い合って毎週ミサに行くようになりました。ドイツ人の神父様の楽しいお話、温かい雰囲気、復活祭、クリスマス等々、初めて触れる西洋文化に憧れ高校卒業まで6年間通いました。洗礼は父がもう少し大人になるまで判断を待つようにと反対され受けられませんでした。結婚後横浜に移り住んで43才の時、PTAを通じて知り合った友人が中和田教会の信者であったことから、その後は順調に受洗に至りました。

▲以前「いのちの電話」で長年、傾聴ボランティアをなさり、現在はNPO「心を聴く市民ネット」の活動に関わっていらっしゃいます。なぜ「聴く」なのでしょう？

→1980年代頃、いじめや校内暴力で学校が荒れている時期があり、夫は高校教師として日々そのような問題に直面していました。私は夫から「いじめっ子」や「暴力をふるう子供」の話を聞く度に、そういう子供たちが決して悪いのではなくて、そういう子供ほど心の葛藤を上手に表現できず間違っただけの方向に発散しているのだと感じました。自分が荒れた子供たちの心を聞き出し少しでも助けになりたいと思っていた矢先「いのちの電話」の募集があり、すぐさま応募して活動するに至りました。



▲そもそも「聴く」とはどういうことで「聴く」ことでどんなことが期待できますか？

→「きく」には三種類あります。「聞く」は一方向の関係。「聴く」は相手と向き合って心を込めて聴く。「傾聴する」は相手の発する言葉の裏に込められている気持ちを感じ取り共感し寄り添っていく。「いのちの電話」では傾聴するための方法を学び訓練が必要とされます。「心を聴く市民ネット」では講座を体験することによって一言に込められた相手の気持ちに気づき、家族間はもちろんのこと地域でのより良いコミュニケーションが取れるようになることを目指しています。

▲「黙想会」は何のためにあるのですか？

→一神からの語りかけに気づくためです。そのため最近ではまず瞑想をして心を空っぽにするところから始まる黙想会が多くなりました。次に聖書を読んだり、講話を聞いたりして、その時胸に響いた箇所（言葉）を味わい黙想します。この胸に響いた箇所こそ神から私たちに直接語りかけられた言葉であり、それに耳を傾けることが大切なんです。私もただひたすら神に心に向け神が語りかけてくださる言葉を聴き味わおうと黙想します。黙想することで心が整えられ慰めや安らぎが得られると感じます。



健やかな成長を、みなでお祈りしました（11月9日 七五三祝福）

本庄蘭ちゃん、葵ちゃんが、七五三の祝福をいただきました。元気で健やかに成長されますように！



「王であるキリスト」の祭日ミサ； 初聖体に与りました（11月23日）

今日、ぼくは教会に行って、はつせい体をうけました。
これからごせい体をもらうのがたのしみです。
みんながパーティーに来てくれてうれしかったです。
なおきくんがだい父をしてくれてうれしかったです。

ほしな はるき



**First
Communion**



初聖体のおめぐみをいただき、ありがとうございました。
神様と、教会と、お友達と一緒にいることのうれしさや喜びを
感じられる初聖体の式になりましたことを心より感謝します。
これからもよろしくおねがいします。

「汚れなき悪戯」も、近いうちに家族で見たいと思います。

保科 桂子

＜第23回湘南キリスト教セミナー＞

「我が家に天使がやってきた」 ～講演と朗読のひととき～

11月29日（土）に、大船教会で、服部 剛さんの講演会が開かれました。

服部さんは、若き日に作家の遠藤周作の文学に出会い詩人を志しました。服部さんには、予定より早く生まれた周くんという3歳になるダウン症の息子さんがいます。その周くんを授かったことについて、当初は目の前が真っ暗になる程衝撃を受け、藁をもつかむ思いで電話した恩師の方から、

「その、人より一本多い染色体に、神の願いが込められているかもしれません」という助言をいただいたとき、心の中にもう一つの価値観が芽生えたそうです。

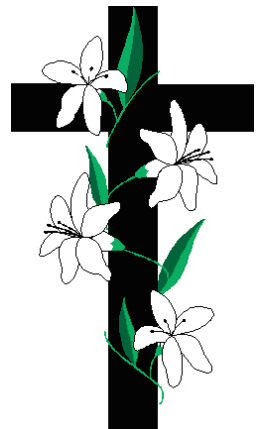
息子さんの誕生～ダウン症の告知～心の衝撃～恩師の助言～愛ある人々との出会いを経て、今は心の中の鉛がとけていき、ありのままの周くんを見つめることができ、改めて人々や出来事を通して感じられる大きな愛に気付かされたそうです。

ダウン症の周くんという小さな命を授かったことをどう受け止めるかについて、服部さんは、聖書のマタイによる福音書の中の一節やジャン・バニエの『ラルシュのころ』からのメッセージの引用や遠藤周作氏の「深い河」の中に出てくるガストンという不思議な人物と重なり合う部分などを紹介しながら朗読されます。

会場には前方に奥様と周くんも同席されていて、服部さんが周くんに詩を読み聞かせる場面では、服部さんが奥様と周くんを守っていこうという確かな愛情が感じられました。その時、奥様は立って周くんをだっこされていました。それは私には、さながらキリストを抱いた聖母子像のように思われました。なんて美しいのだろうと！

服部さんの周くんに向ける詩、井上洋治神父様の詩、さとう ぎんねこさんの詩、周くんの代父の山根道公さんの『周ちゃんへの手紙』の朗読を聴衆の皆様とじっくり味わいました。

服部さんのお話は、詩人であるだけに言葉が珠玉のように磨かれていて、時間の流れが止まったかのようなひと時を持つことが出来ました。もともと明るく楽観的な性格の方だそうです。明るくオープンな姿勢でこれからの困難なことのりこえて、希望の光を仰ぐことができるように、私達も支援・協力していきたいと思いました。（武田 幸子）



委員会だより

(文中敬称略)

△11月9日(日) 10名出席▽

■日野神父様のお話

・中和田教会に来て半年が過ぎましたがまだ慣れていないところもあります。もう少ししたら落ち着くでしょう。今日は初聖体を受ける子供さんの勉強を頼まれて大人の聖書を一緒に読みました。今後は要理の勉強をお母さんたちと教えながら一緒にできると良いと思います。

■報告事項・その他

- ・スケジュール確認・修正
- ・大掃除 12月21日(日) ミサ後
- 各グループからの報告

●典礼(大宮(智))

- ・典礼こよみ確認 12月28日(日)
- ・子供と共に捧げるミサはなし

・待降節の典礼

- ・12月1日(月) ～ 12月10日(水)
- ・日野神父様巡礼のため不在
- ・12月7日(日) ～ 12月8日(月)
- ・ミサ司式、黙想会、ゆるしの秘跡は熊木神父様。

・四旬節の黙想会

- ・3月15日(日) 栄光学園理事長
- ・萱場神父様に日野神父様から依頼、了承、決定

●財務(甲斐)

・特になし

- 宣教(石井(洋))
- ・泉区民クリスマス 12月22日(月)

14:00 泉公会堂

子供を対象としたクリスマスを開催。講話は日野神父様

・中高生会 クリスマスに向け

要理の子どもたちの聖劇をサポートすることになった。

●要理(裕)

・七五三のお祝いのお礼

・クリスマスに向け 聖劇の練習をする

●営繕・建物(福島)

・神父様居住、2F和室畳交換、階段手すり取り付けは実施済み。
風呂、床のフローリングについて
早急に工事する。(12月1日～9日) またバランダ物干し場について見積りを急ぐ。

・前進駐車を希望する声があることが紹介され議論されたが、出ることに危険なため従来どおりとすることとなった。

●福祉(山本)

・ホームレス支援、10月分のお米、梅干しを届けた。

・施設に送る古着を戸塚教会に届けた。

・バザー収益の一部を寄付するに当たって12月の委員会では寄付先を検討、決定するので去年までのリスト(資料)を提出して頂きたい(甲斐)

●広報(今井)

- ・原稿依頼(11月26日(水) 締切り)
- 総務(岩淵(英))

・奉仕希望表が提出され、まとめた。当初想定より多くの方が提出くださった。

・早々に地区集会を開催し来年度の幹事、グループメンバー、行事委員、掃除当番を選出する。

■討議事項(上野)

・各種ミサ謝礼の基準について文書化し総務で保管する。問い合わせは総務が窓口。

・神父様不在中の教会管理当番が必要となる。12月1日～10日まで。当番表を貼っておくので当番可能な日、時間帯に記名をお願いします。

・12月7日 黙想会、ゆるしの秘跡の後には熊木神父様を囲んで昼食会を実施する。

以上

次回委員会

12月14日(日)



泉区民クリスマス 2014

2014年12月22日(月)

14:30 ~ 16:00

(開場 14:00)

会場：泉公会堂 入場無料

(整理券が必要です
⇒ 石井(悠) 委員まで)

*当日のプログラム

- ・クリスマスメッセージ
- ・クリスマスキャロル
- ・幼稚園児によるページェント
- ・連合聖歌隊合唱
- ・保育園児による歌・踊り など

主催： 泉区民クリスマス実行委員会

